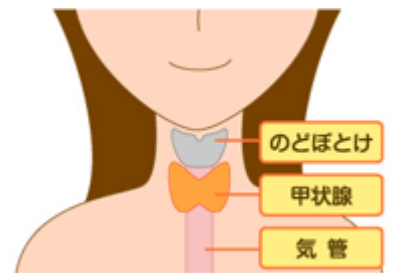




近年、雑誌やテレビで紹介されることの多い甲状腺疾患。「耳にしたことはあるけど、ピンと来ない」という方も多いのではないのでしょうか？今回は甲状腺機能亢進症についてお話しします。

甲状腺の位置

甲状腺は首の前側、**のどぼとけのすぐ下**にあります。正常の甲状腺は外から手で触ってもわかりませんが、腫れてくると手で触ることができ、首を見ただけで腫れているのがわかります。



甲状腺の働き

甲状腺は、食べ物に含まれる**ヨウ素**を材料にして甲状腺ホルモンを作り、血液中に分泌しています。甲状腺ホルモンには**脳、心臓、胃腸の活性化、体温調節、新陳代謝を促進**する働きがあります。

甲状腺機能亢進症(バセドウ病)について

甲状腺から甲状腺ホルモンが過剰に分泌されることで、甲状腺の機能が亢進し、**全身の代謝が高まった状態**のことです。20～50歳代に発症することが多く、中でも30～40歳代の患者が多いです。男女の比率は男性1に対して女性5～6と**女性のほうが多い**です。

- ◆ 症状：**動悸、眼球突出、体重減少、多汗、発熱、手指のふるえ、不眠、イライラする**
- ◆ 治療薬
- ◆

【抗甲状腺薬】：メルカゾール、チウラジール
甲状腺ホルモンの合成を抑えます。

【β遮断薬】：プロプラノロール、ビソプロロール等
動悸や手足の震えを抑えます。



甲状腺と薬のQ & A



★バセドウ病の検査方法はどういう方法があるの？

- ①血液検査…甲状腺ホルモン（T3・T4）や甲状腺刺激ホルモン（TSH）の分泌量、自己抗体などを調べ、**甲状腺の働きや疾患の種類を診断**します。
- ②エコー検査…**甲状腺の形の異常を調べる検査**。甲状腺に異常が疑われた場合、超音波で腫瘍の有無や位置、大きさ、性質（良性・悪性）を確認します。

★抗甲状腺ホルモン薬と甲状腺ホルモン製剤が同時に処方されているのはなぜ？

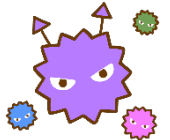
バセドウ病の患者は甲状腺機能が亢進しているため、まず抗甲状腺薬の投与を行います。甲状腺機能が過度に抑制されてしまうことがあります。そこで少なくなり過ぎてしまった甲状腺ホルモンの量を整えるために、**甲状腺ホルモン製剤を投与**することがあります。

★甲状腺に異常がある人はイソジンでうがいをし過ぎてはいけ ないのはなぜ？



イソジンうがい液の主な成分はヨウ素です。うがいによって食品から摂る量よりも多くのヨウ素が吸収される可能性があります。ヨウ素が過量に摂取されると、特に甲状腺に異常がある人は**甲状腺ホルモン合成が抑制**されて、**甲状腺機能低下を招いてしまう**ことがあるので注意が必要です。

★抗甲状腺薬の注意すべき副作用ってどんなものがあるの？



無顆粒球症といって白血球や顆粒球の数が減少し感染症にかかりやすくなる状態になることがあります。**のどの痛み、発熱**などの症状が出現し、飲み始めの2か月間に生じることが多いと言われています。そのため頻回の採血が必要となることがあります。

上記の症状に気づいた場合には医師・薬剤師へご相談ください。

